

## 第8章 導入ポテンシャルの再推計

本章では、国立公園（第2種特別地域、第3種特別地域）における開発と傾斜掘削による開発に関する条件を付した3種類の導入ポテンシャルを推計した結果を記述する。

### 8.1 導入ポテンシャル推計条件の設定

環境省の平成21～24年度の調査における推計条件を基に、導入ポテンシャルの推計条件を設定する。なお、導入ポテンシャルの種類としては以下の3種類を想定し、発電方式の特性に応じて選定する。

- ・基本となる導入ポテンシャル（基本）：  
国立・国定公園（第2種特別地域、第3種特別地域）なし、傾斜掘削なし
- ・条件付き導入ポテンシャル1（条件1）：  
国立・国定公園（第2種特別地域、第3種特別地域）なし、傾斜掘削あり
- ・条件付き導入ポテンシャル2（条件2）：  
国立・国定公園（第2種特別地域、第3種特別地域）あり、傾斜掘削なし

表 8.1-1 蒸気フラッシュ発電に関する開発不可条件

区分	項目	「基本となる導入ポテンシャル」 の開発不可条件	「条件付き導入ポテンシャル1」 の開発不可条件 (傾斜掘削あり)	「条件付き導入ポテンシャル2」 の開発不可条件 (国立・国定公園（第2種特別地 域、第3種特別地域）あり)
社会条件(法規制等)	法規制区分	1) 国立・国定公園（特別保護地区、第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域） 2) 都道府県立自然公園（第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域） 3) 原生自然環境保全地域 4) 自然環境保全地域 5) 鳥獣保護区のうち特別保護地区(国指定、都道府県指定) 6) 世界自然遺産地域	以下の区域の外縁部から 1.5km 以上離れた内側地域 1) 国立・国定公園（特別保護地区、第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域） 2) 都道府県立自然公園（第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域） 3) 原生自然環境保全地域 4) 自然環境保全地域 5) 鳥獣保護区のうち特別保護地区(国指定、都道府県指定) 6) 世界自然遺産地域	1) 国立・国定公園（特別保護地区、第1種特別地域） 2) 都道府県立自然公園（第1種特別地域） 3) 原生自然環境保全地域 4) 自然環境保全地域 5) 鳥獣保護区のうち特別保護地区(国指定、都道府県指定) 6) 世界自然遺産地域
社会条件(土地利用等)	土地利用区分	7. 建物用地、9. 幹線交通用地、A. その他の用地、B. 河川地及び湖沼、F. 海水域	7. 建物用地、9. 幹線交通用地、A. その他の用地、B. 河川地及び湖沼、F. 海水域	7. 建物用地、9. 幹線交通用地、A. その他の用地、B. 河川地及び湖沼、F. 海水域
	居住地からの距離	100m 未満	100m 未満	100m 未満
	都市計画区分	市街化区域	市街化区域	市街化区域

表 8.1-2 バイナリー発電に関する開発不可条件（案）

区分	項目	「基本となる導入ポテンシャル」の開発不可条件	「条件付き導入ポテンシャル1」の開発不可条件 (傾斜掘削あり)	「条件付き導入ポテンシャル2」の開発不可条件 (国立・国定公園（第2種特別地域、第3種特別地域）あり)
社会条件(法規制等)	法規制区分	1) 国立・国定公園（特別保護地区、第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域） 2) 都道府県立自然公園（第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域） 3) 原生自然環境保全地域 4) 自然環境保全地域 5) 鳥獣保護区のうち特別保護地区（国指定、都道府県指定） 6) 世界自然遺産地域	/	1) 国立・国定公園（特別保護地区、第1種特別地域） 2) 都道府県立自然公園（第1種特別地域） 3) 原生自然環境保全地域 4) 自然環境保全地域 5) 鳥獣保護区のうち特別保護地区（国指定、都道府県指定） 6) 世界自然遺産地域
	土地利用区分	7. 建物用地、9. 幹線交通用地、A. その他の用地、B. 河川地及び湖沼、F. 海水域		7. 建物用地、9. 幹線交通用地、A. その他の用地、B. 河川地及び湖沼、F. 海水域
	居住地からの距離	100m 未満		100m 未満
都市計画区分	市街化区域	市街化区域		

表 8.1-3 低温バイナリー発電に関する開発不可条件（案）

区分	項目	「基本となる導入ポテンシャル」の開発不可条件	「条件付き導入ポテンシャル1」の開発不可条件 (傾斜掘削あり)	「条件付き導入ポテンシャル2」の開発不可条件 (国立・国定公園（第2種特別地域、第3種特別地域）あり)
社会条件(法規制等)	法規制区分	1) 国立・国定公園（特別保護地区、第1種特別地域） 2) 都道府県立自然公園（第1種特別地域） 3) 原生自然環境保全地域 4) 自然環境保全地域 5) 鳥獣保護区のうち特別保護地区（国指定、都道府県指定） 6) 世界自然遺産地域	/	/
社会条件(土地利用等)	土地利用区分	9. 幹線交通用地、A. その他の用地、B. 河川地及び湖沼、F. 海水域		
	居住地からの距離	考慮せず		
都市計画区分	考慮せず			

## 8.2 導入ポテンシャルの推計結果

### (1) 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル

#### ① 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布状況

蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布状況を図 8.2-1～9 に示す。これによると下北、八幡平、大分などに導入ポテンシャルが多く分布していることがわかる。

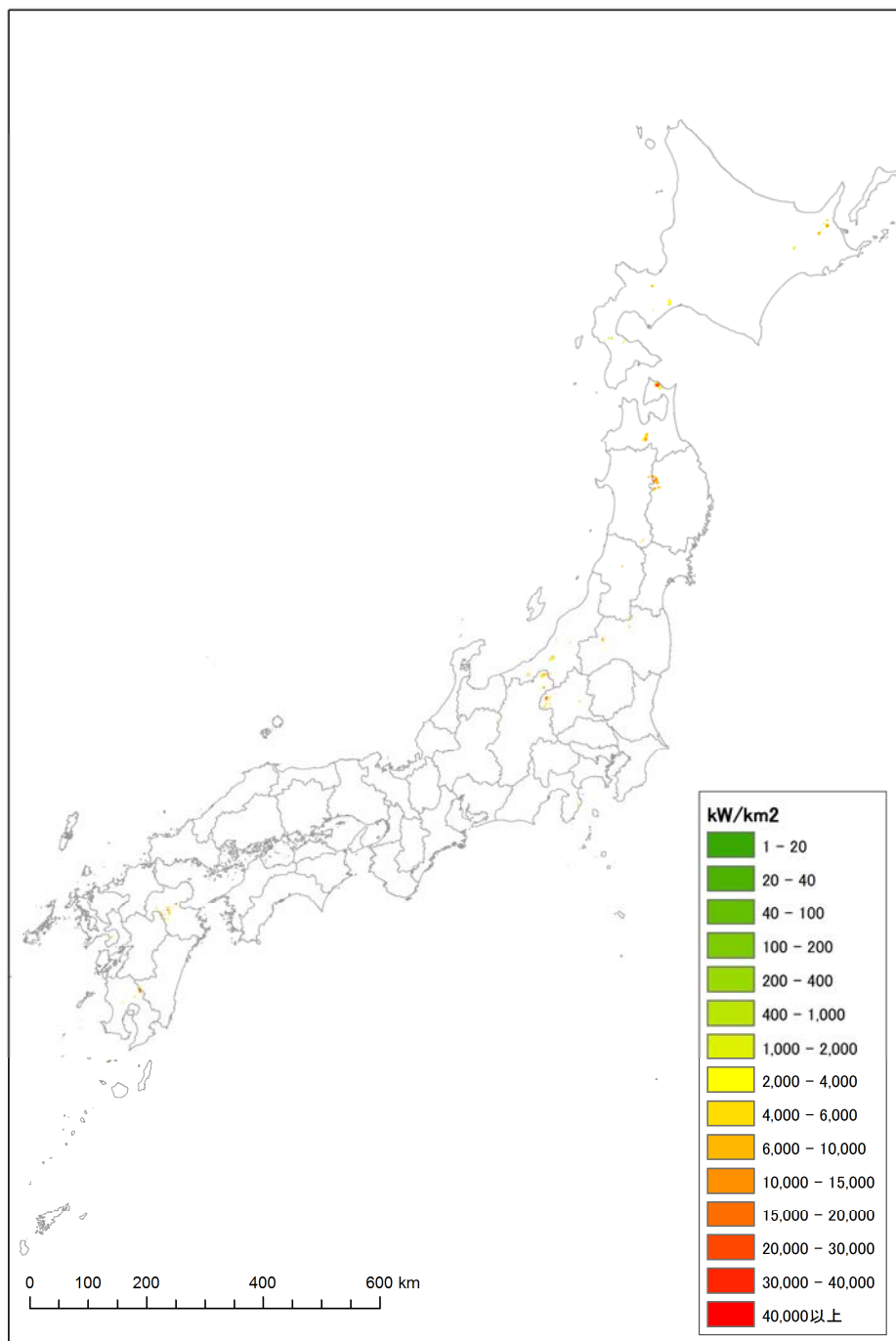


図 8.2-1 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (150°C以上、基本)

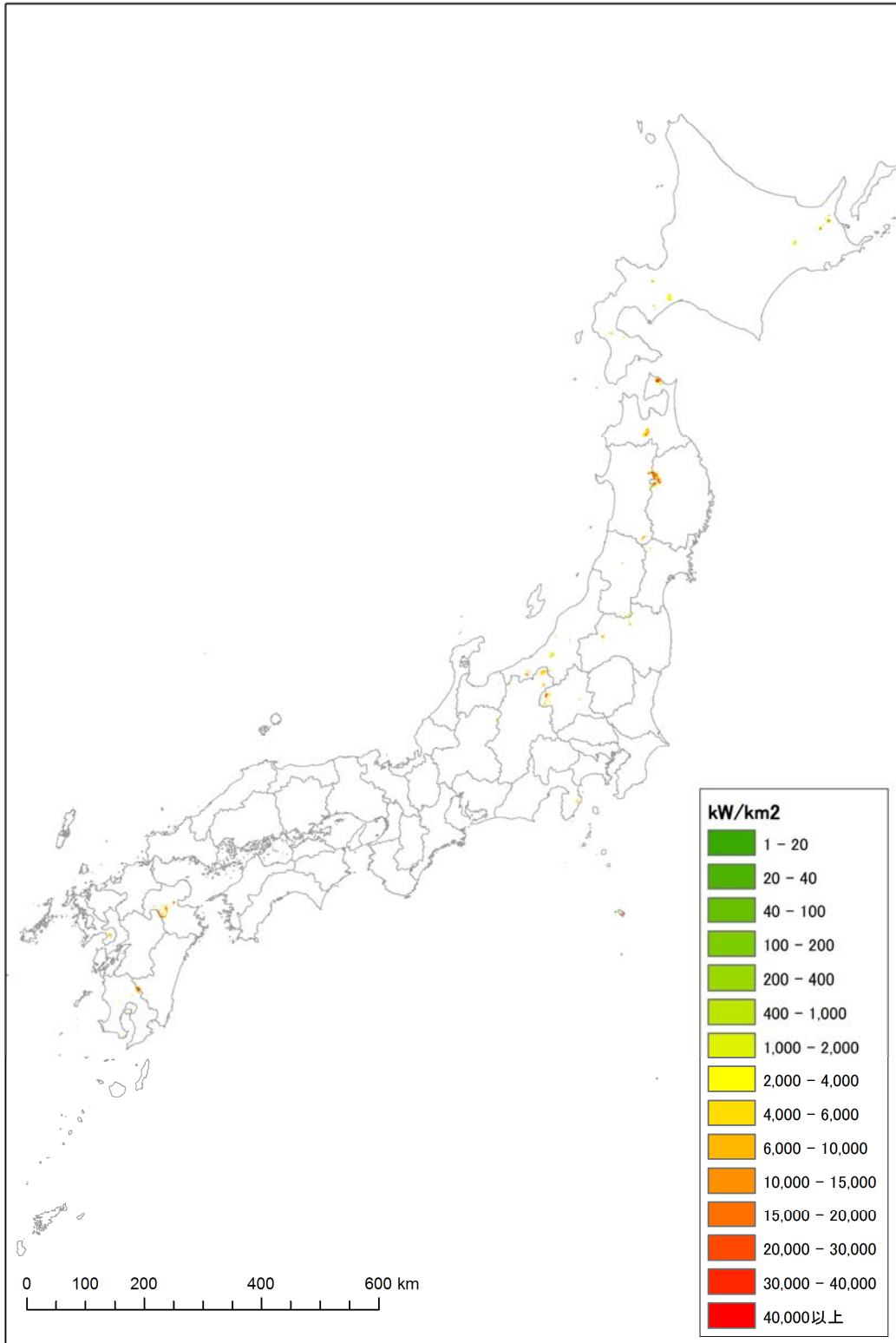


図 8.2-2 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (150°C以上、条件 1)

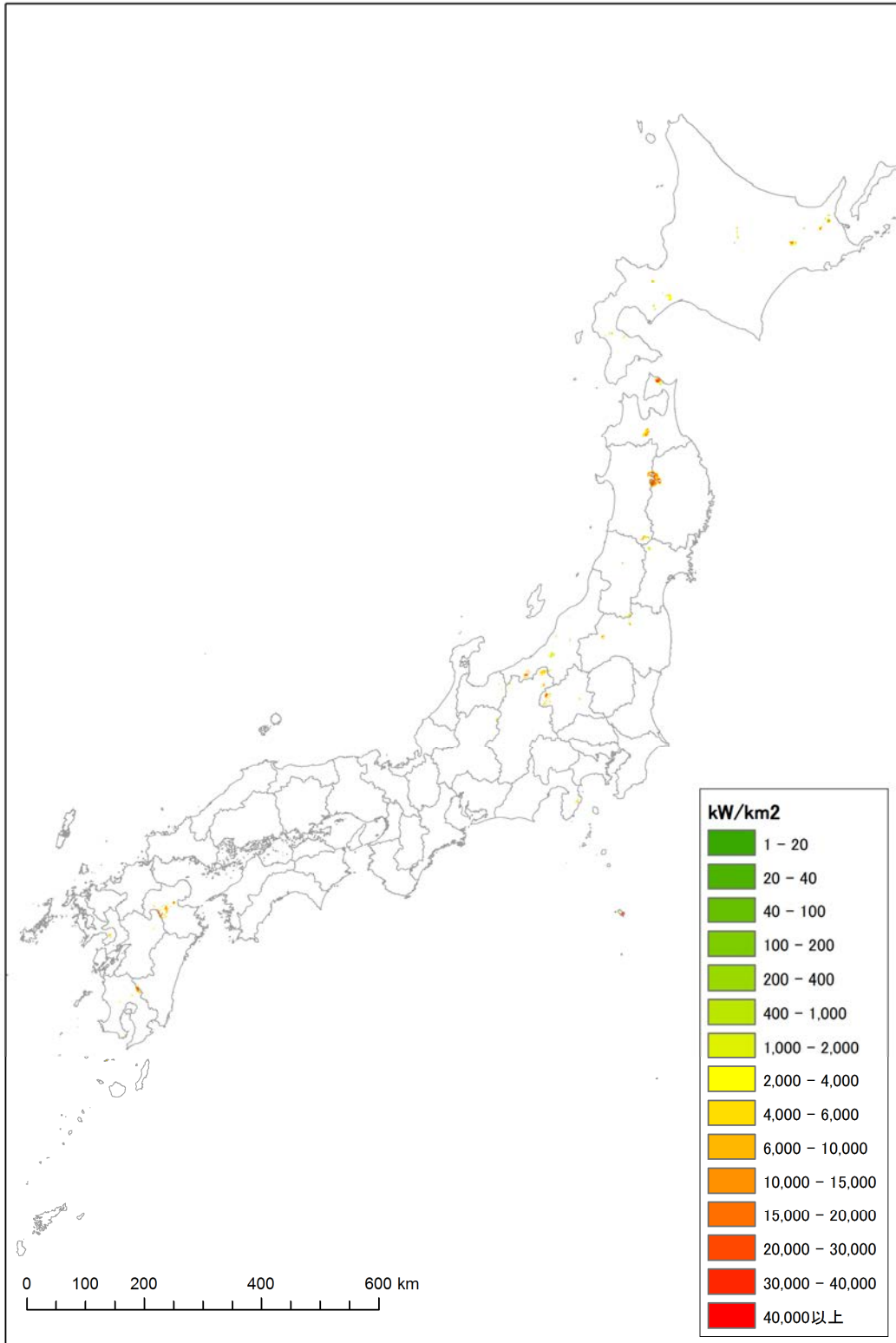


図 8.2-3 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (150°C以上、条件 2)

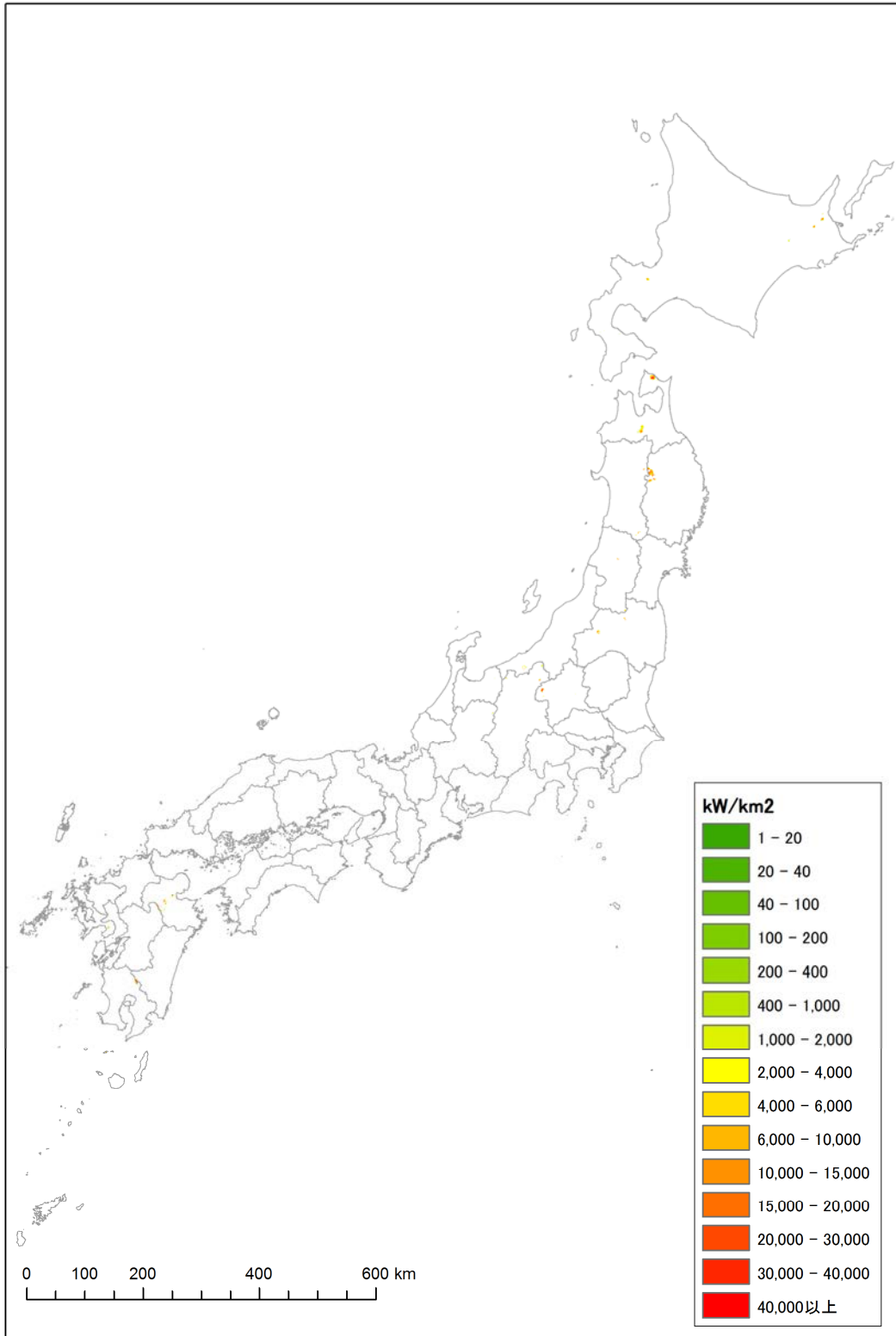


図 8.2-4 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (180°C以上、基本)

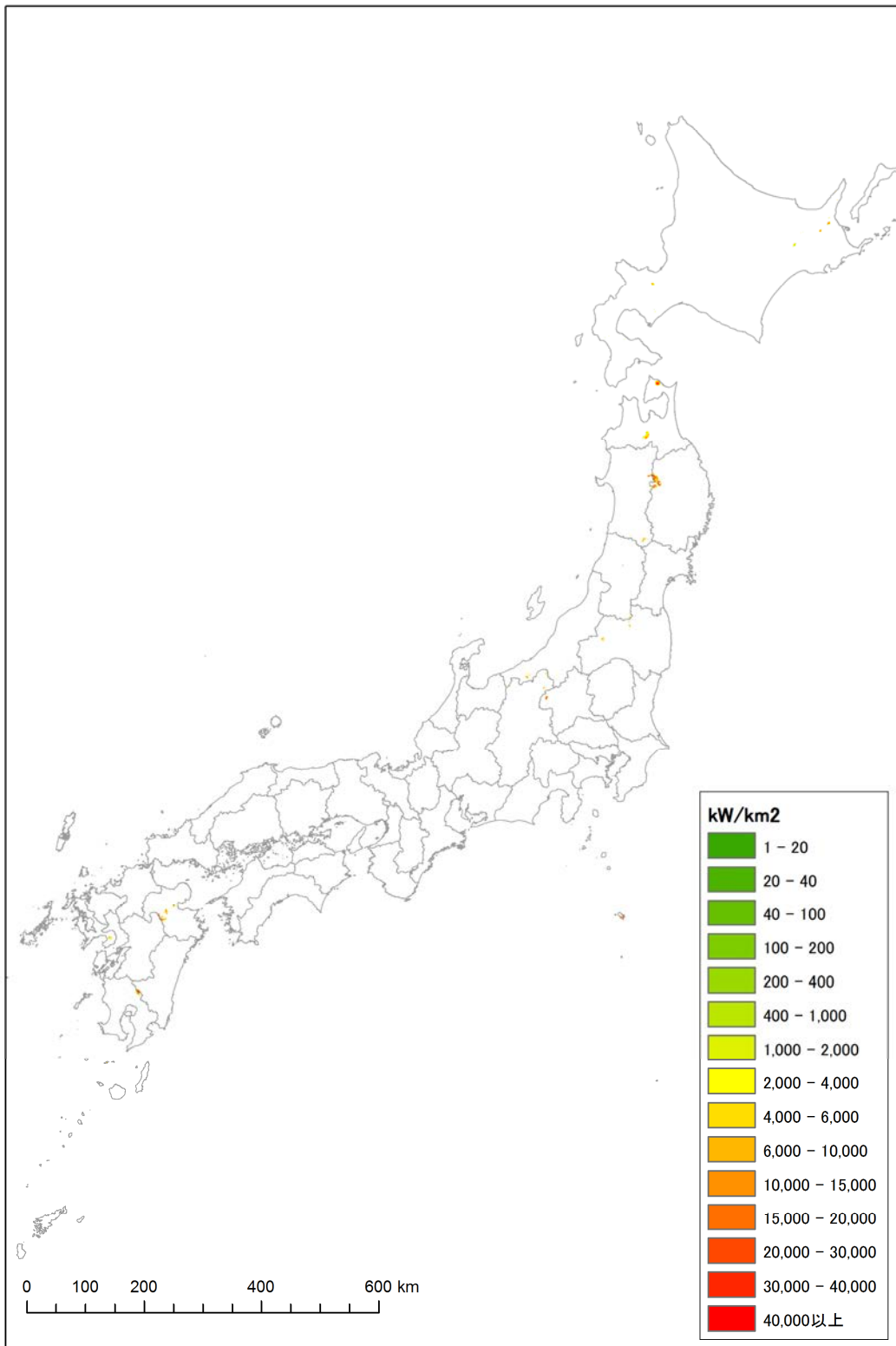


図 8.2-5 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (180°C以上、条件 1)

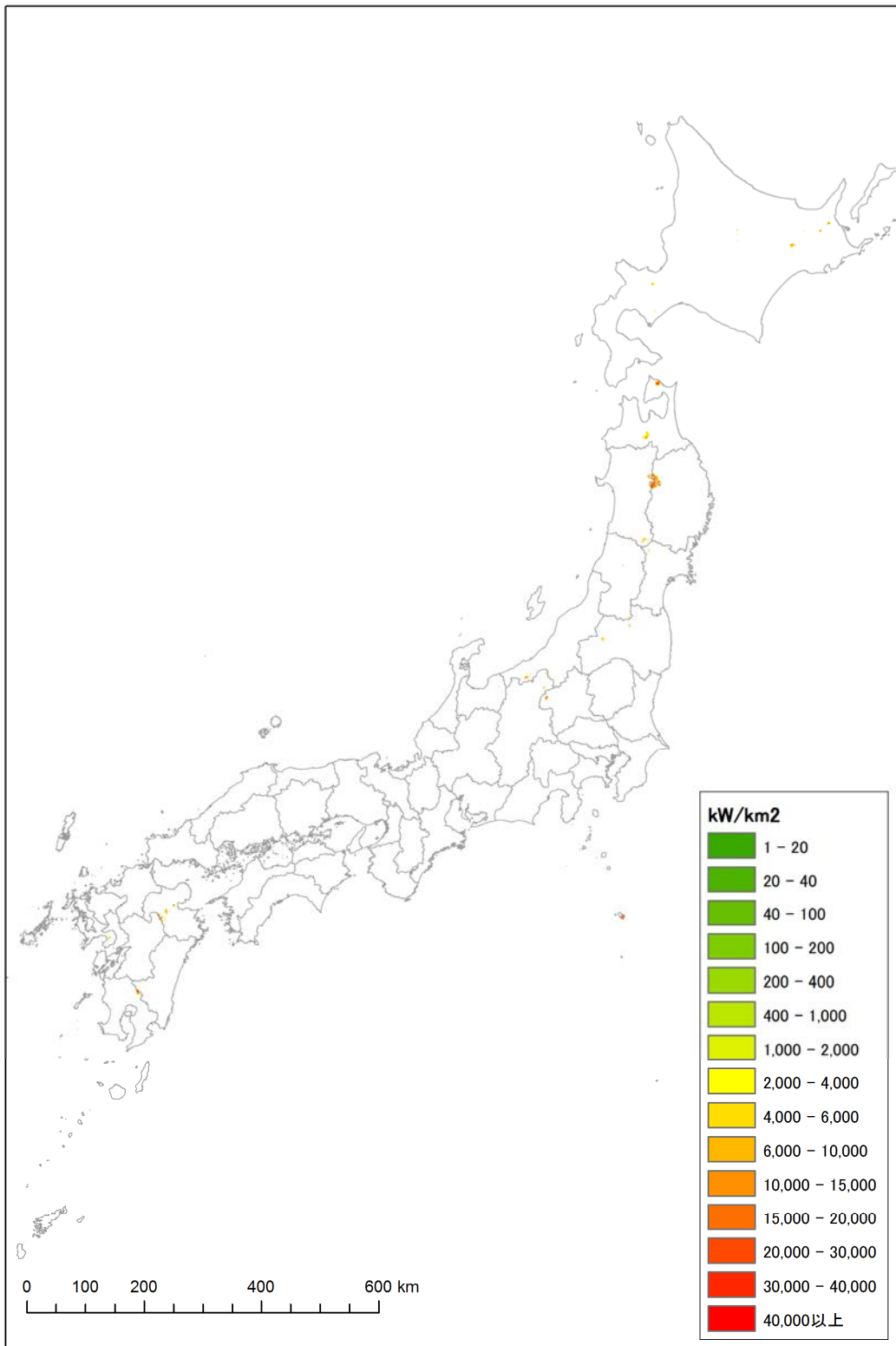


図 8.2-6 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (180°C以上、条件 2)



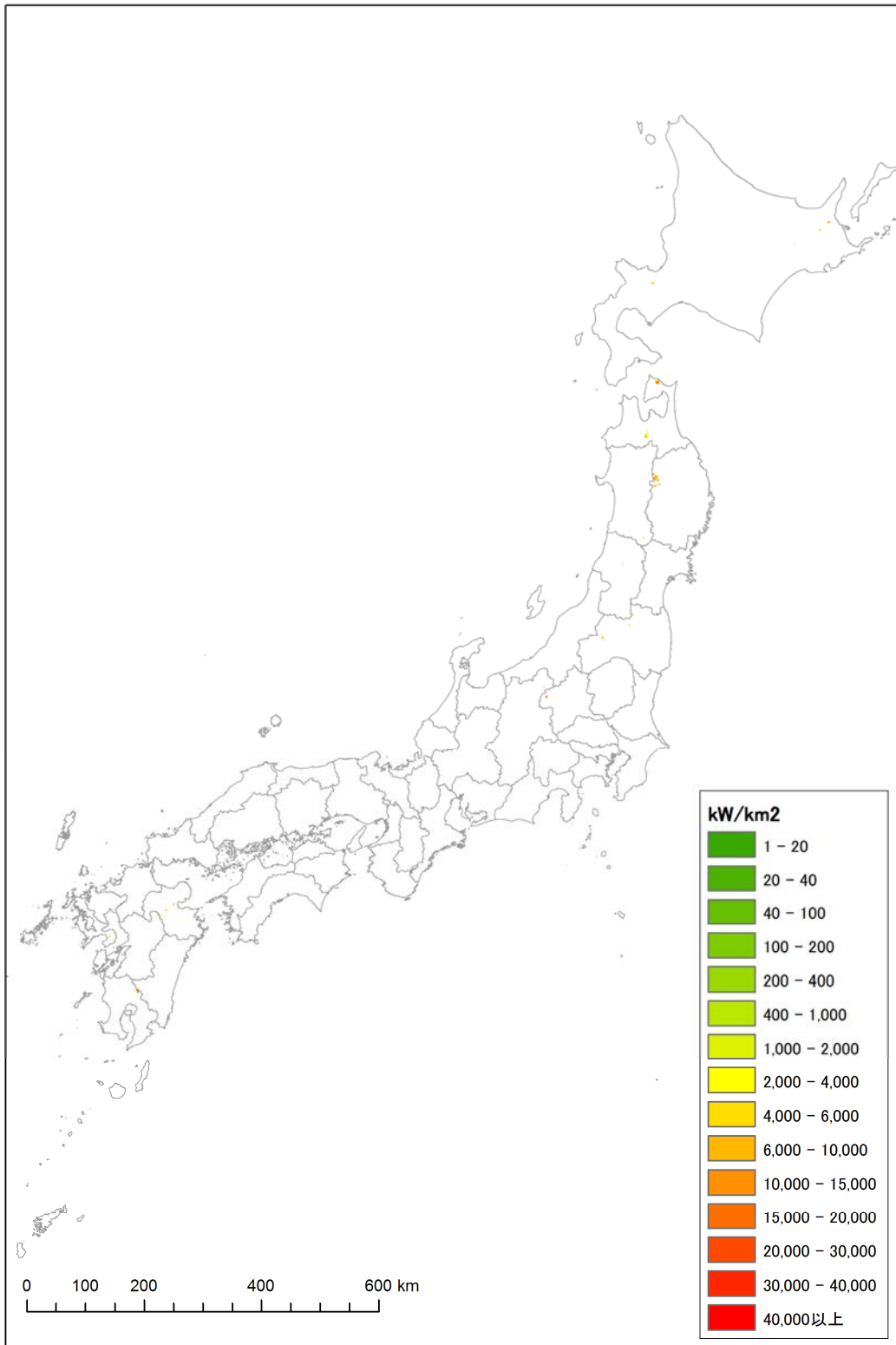


図 8.2-7 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (200°C以上、基本)

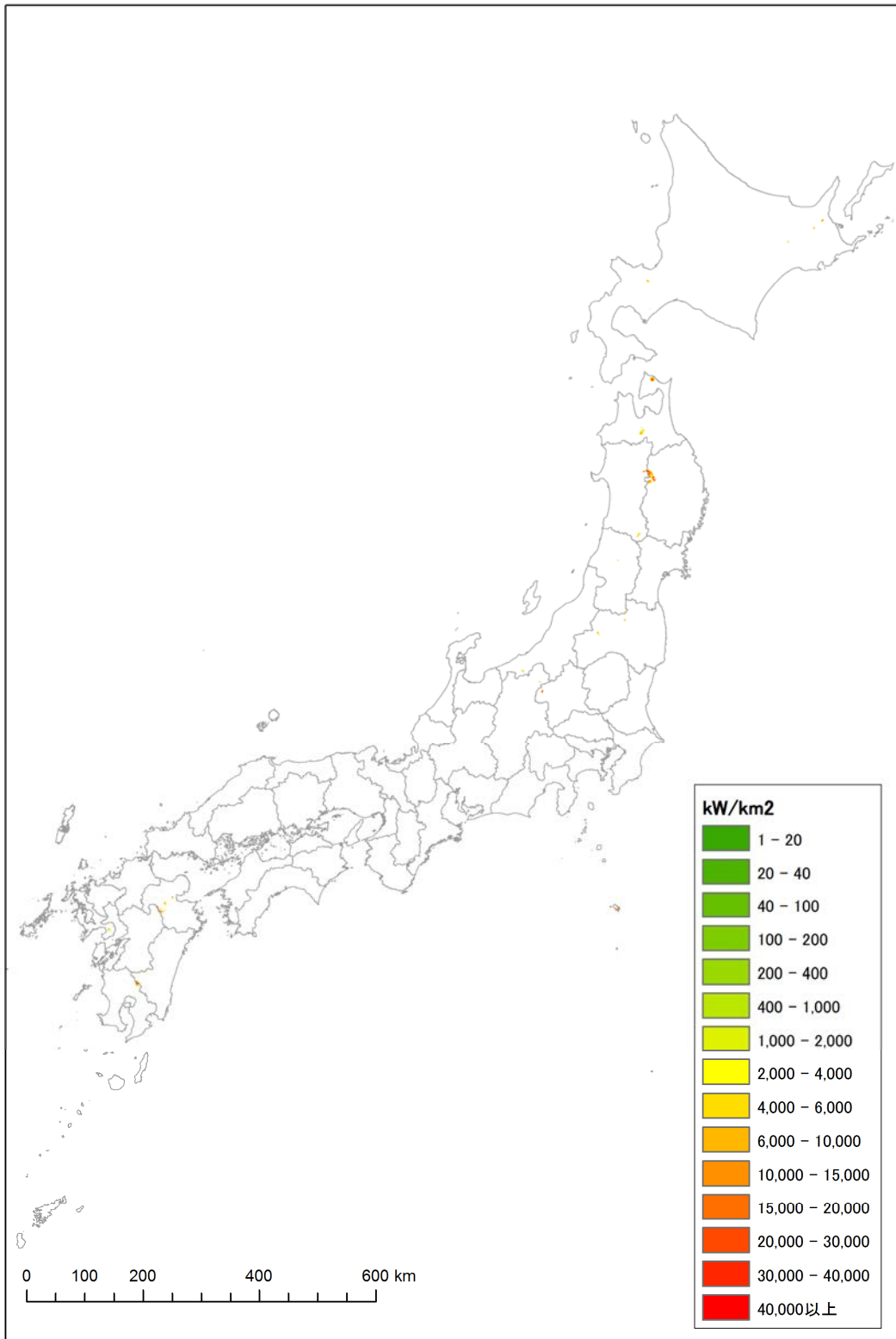


図 8.2-8 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (200°C以上、条件 1)

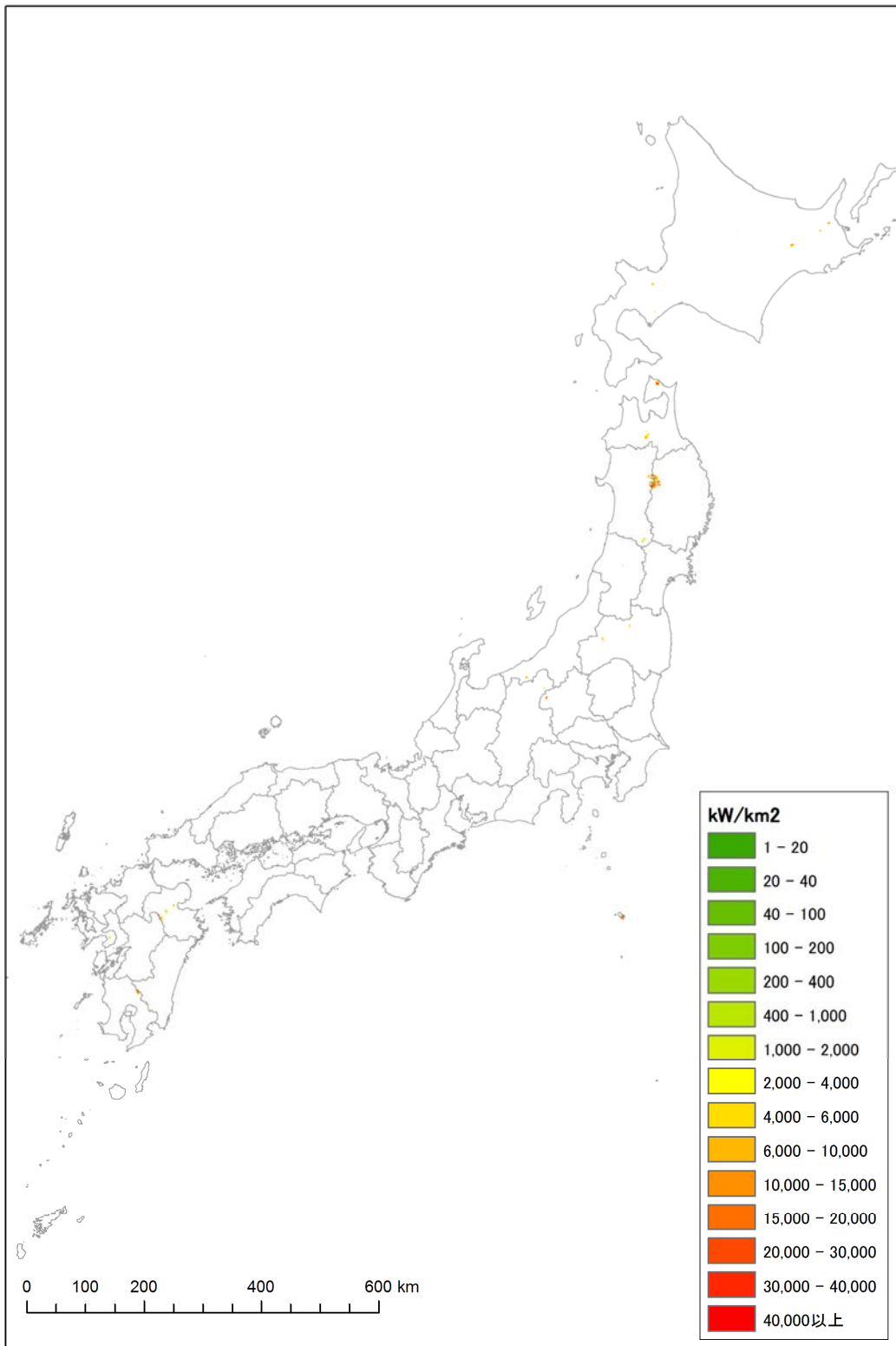


図 8.2-9 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル分布図 (200°C以上、条件 2)

## ②蒸気フラッシュの導入ポテンシャル集計結果

蒸気フラッシュの導入ポテンシャル集計結果を表 8.2-1 に示す。蒸気フラッシュ（150℃以上）について平成 24 年度推計結果と比較すると、大幅に増加している。これは坑井データを追加したことにより公園周辺の資源が多く表出したためと考えられる。

表 8.2-1 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル集計結果

対象温度区分	推計条件	導入ポテンシャル (万 kW)	(参考) H24 推計結果 (※1)
150℃以上	基本 (国立公園なし, 傾斜掘削なし)	785	233
	条件 1 (国立公園なし, 傾斜掘削あり)	1,267	534
	条件 2 (国立公園あり, 傾斜掘削なし)	1,407	848
180℃以上	基本 (国立公園なし, 傾斜掘削なし)	446	推計していない
	条件 1 (国立公園なし, 傾斜掘削あり)	787	〃
	条件 2 (国立公園あり, 傾斜掘削なし)	887	〃
200℃以上	基本 (国立公園なし, 傾斜掘削なし)	313	〃
	条件 1 (国立公園なし, 傾斜掘削あり)	574	〃
	条件 2 (国立公園あり, 傾斜掘削なし)	648	〃

※1 環境省「平成 24 年度再生可能エネルギーのゾーニング基礎情報整備報告書」

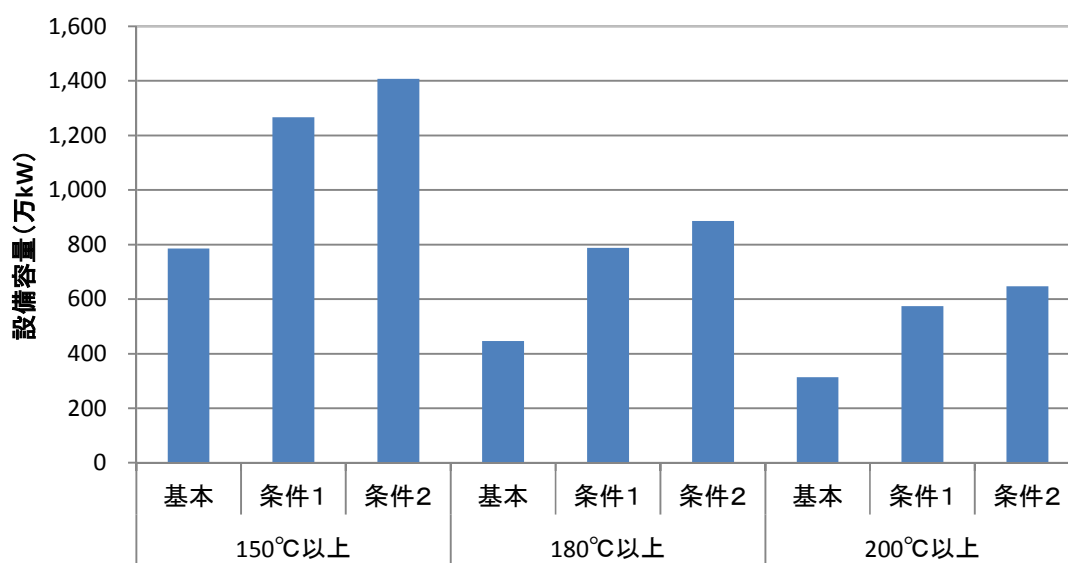
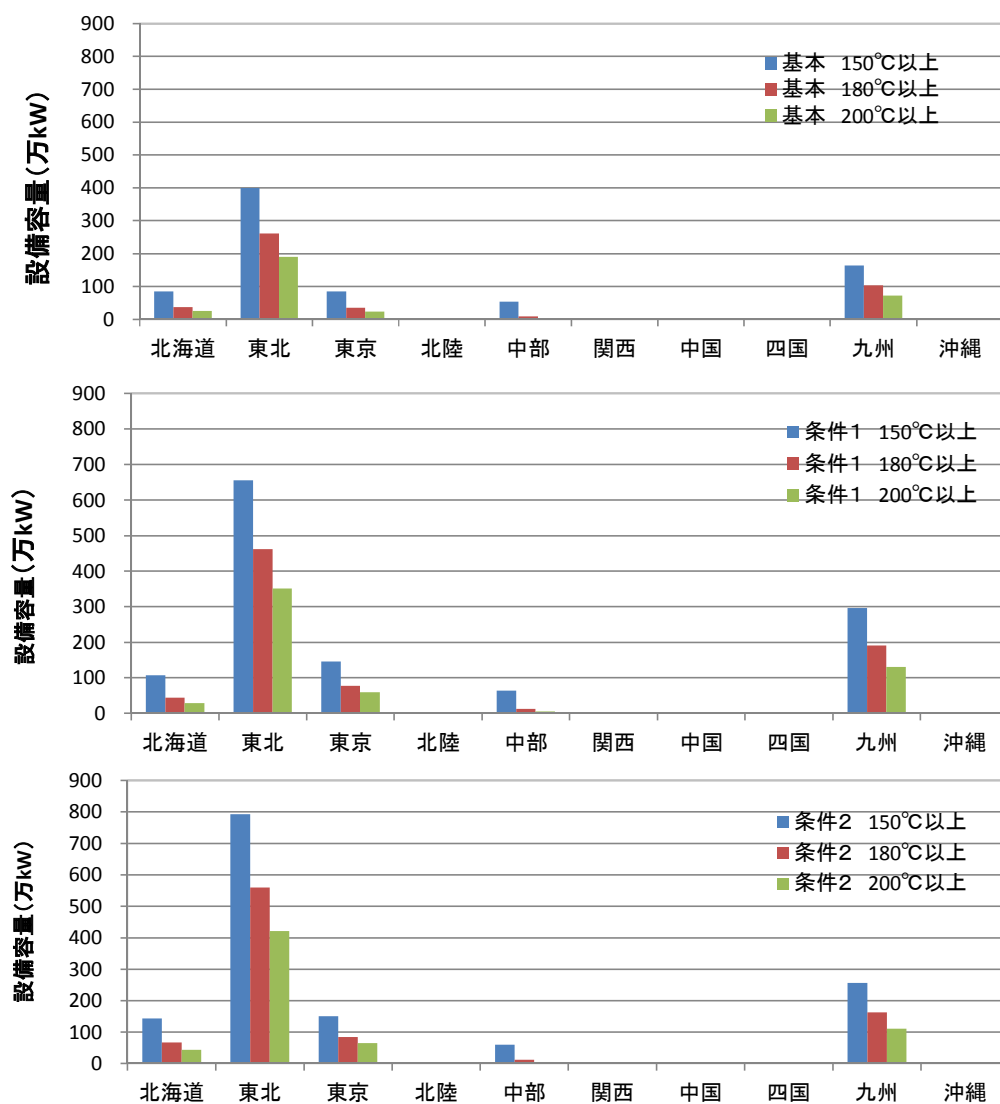


図 8.2-10 蒸気フラッシュの導入ポテンシャル集計結果

### ③蒸気フラッシュの電力供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況

蒸気フラッシュの電力供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況を図 8. 2-11 に示す。これによると東北、九州電力管内に多く分布していることがわかる。

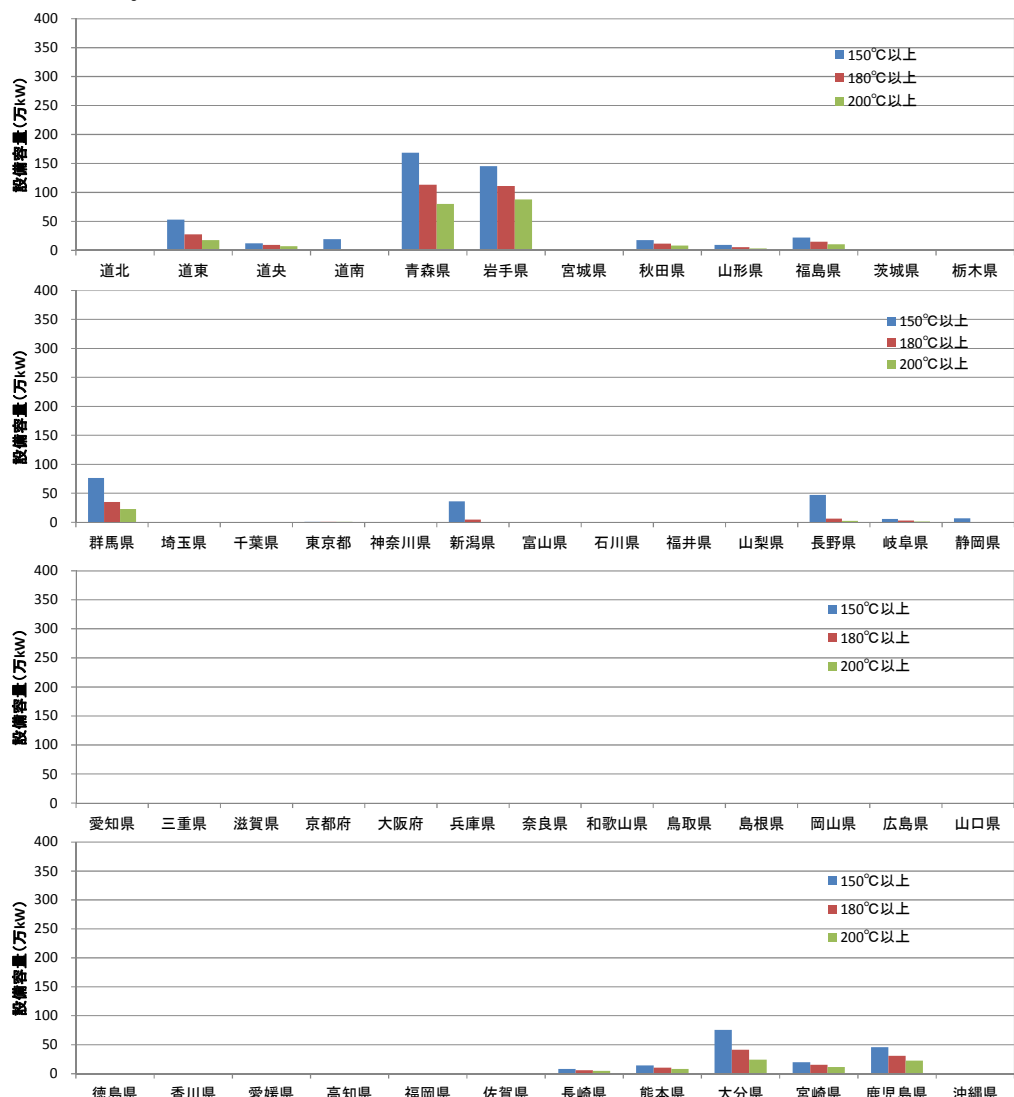


対象温度区分	推計条件	全国	北海道	東北	東京	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
150℃以上	基本	785	84	399	84	0	53	0	0	0	164	0
	条件1	1,267	107	655	145	1	63	0	0	0	296	0
	条件2	1,407	143	793	151	4	60	0	0	0	256	0
180℃以上	基本	446	37	261	35	0	9	0	0	0	103	0
	条件1	787	44	461	78	0	12	0	0	0	191	0
	条件2	887	67	560	84	2	12	0	0	0	163	0
200℃以上	基本	313	25	190	23	0	4	0	0	0	72	0
	条件1	574	28	351	59	0	5	0	0	0	130	0
	条件2	648	44	422	65	1	5	0	0	0	111	0

図 8. 2-11 蒸気フラッシュの供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況(設備容量: 万 kW)

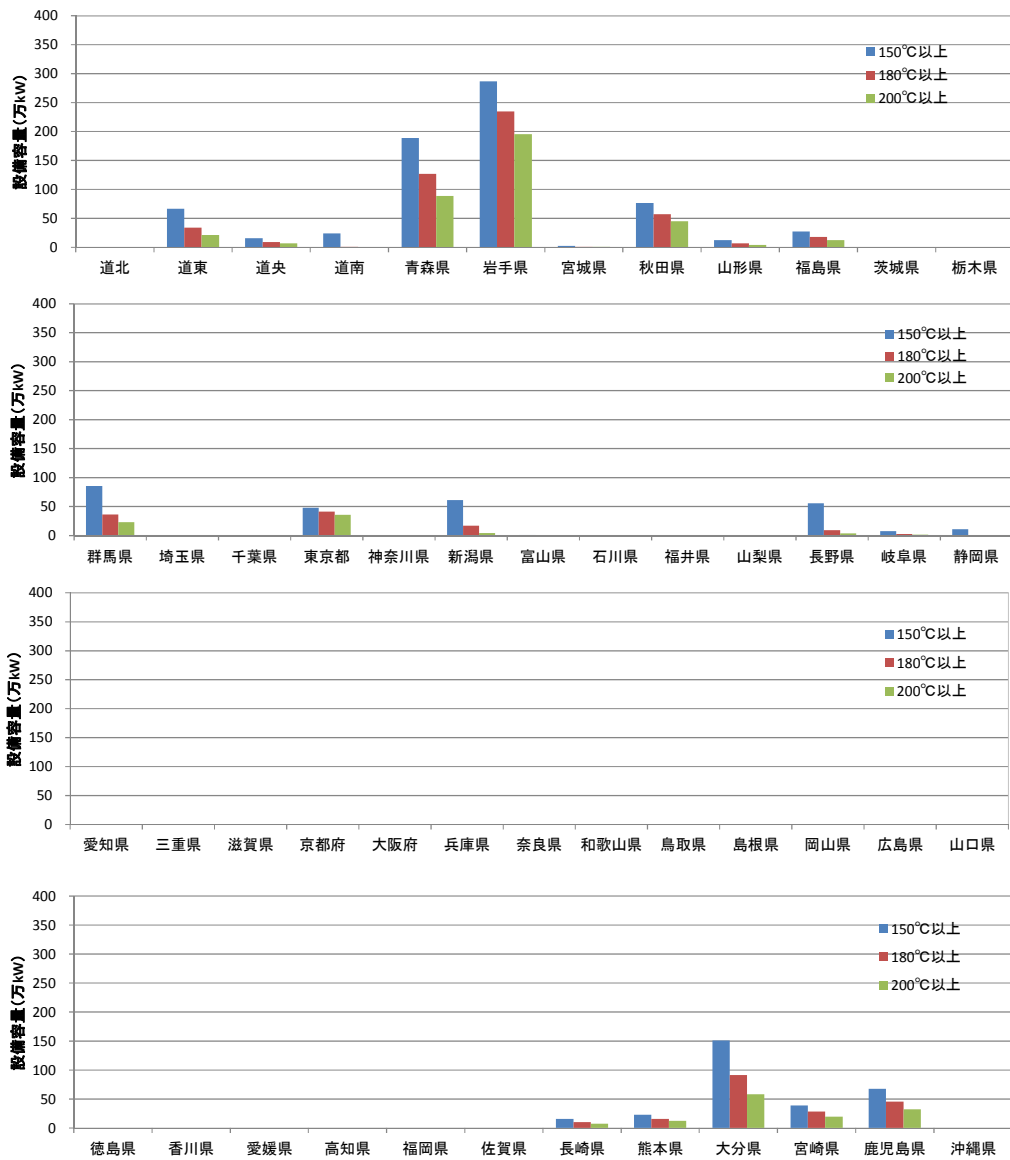
#### ④蒸気フラッシュの都道府県別の導入ポテンシャル分布状況

蒸気フラッシュの都道府県別の導入ポテンシャル分布状況を図 8.2-12～14 に示す。これによると、青森県、岩手県に多く分布していることがわかる。条件1及び条件2では国立公園の開発、傾斜掘削により秋田県や大分県の導入ポテンシャルが多く表出することがわかる。



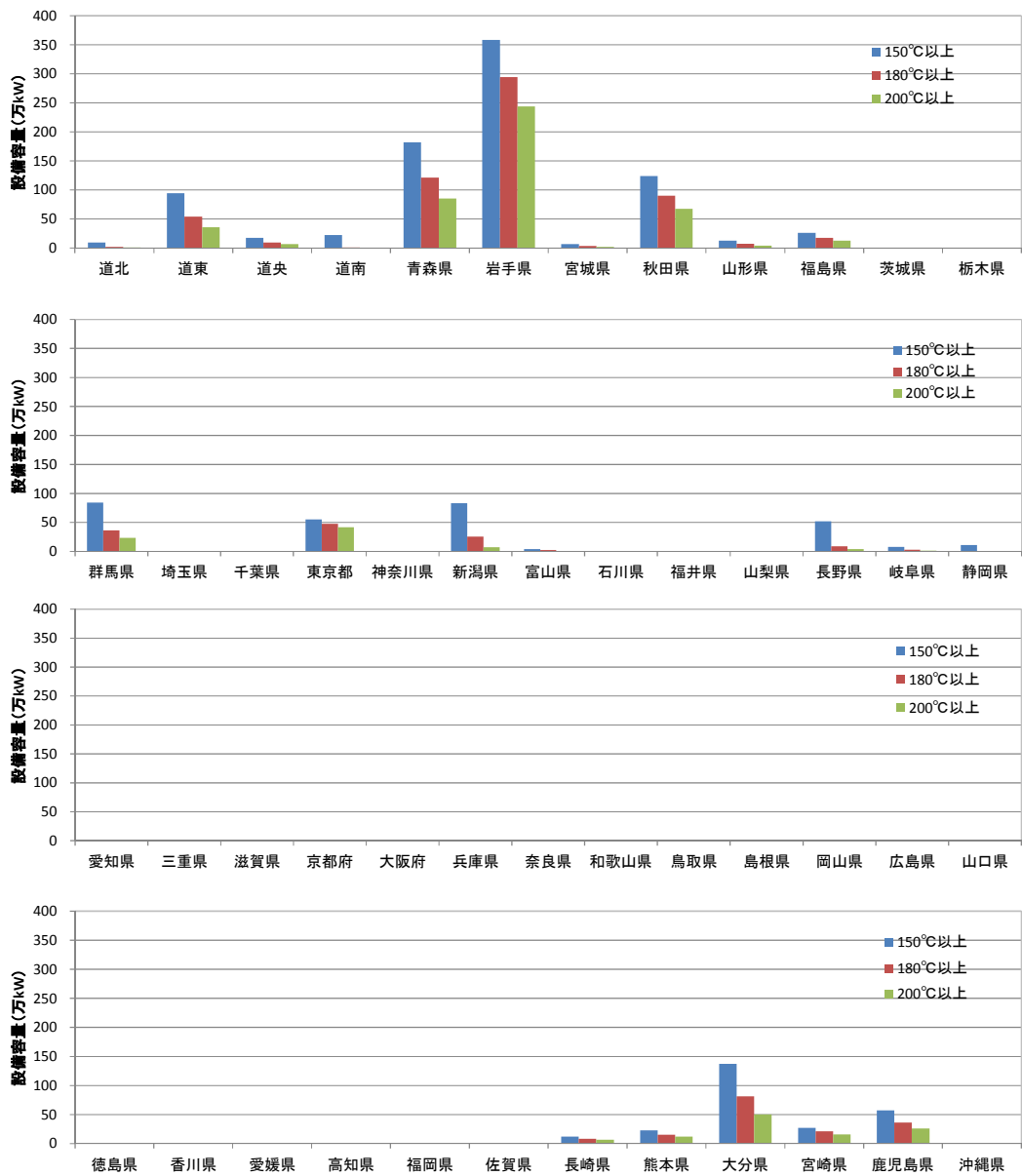
対象温度区分	全国	道北	道東	道央	道南	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
150°C以上	784.8	0.0	53.1	12.2	19.2	168.3	145.3	0.1	17.9	9.5	22.1	0.0	0.0
180°C以上	446.0	0.0	27.5	9.2	0.3	113.4	110.9	0.0	11.4	5.7	15.0	0.0	0.0
200°C以上	313.4	0.0	17.8	7.0	0.1	80.2	87.6	0.0	8.4	3.3	10.5	0.0	0.0
対象温度区分	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
150°C以上	77	0.0	0.0	0.7	0.0	36.1	0.3	0.0	0.0	0.0	47.3	5.5	6.8
180°C以上	35	0.0	0.0	0.6	0.0	4.4	0.1	0.0	0.0	0.0	6.4	2.7	0.0
200°C以上	23	0.0	0.0	0.6	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	2.2	1.4	0.0
対象温度区分	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
150°C以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
180°C以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
200°C以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象温度区分	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
150°C以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1	14.5	75.6	19.8	45.6	0.0	
180°C以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	10.4	40.9	15.6	30.7	0.0	
200°C以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	8.3	24.2	11.7	22.6	0.0	

図 8.2-12 蒸気フラッシュの都道府県別の導入ポテンシャル分布状況(設備容量:万 kW)(基本)



対象温度区分	全国	道北	道東	道央	道南	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
150℃以上	1,266.8	0.1	66.8	15.7	23.9	188.5	286.7	2.3	76.6	12.5	27.3	0.0	0.0
180℃以上	787.2	0.0	34.2	9.2	0.6	126.6	234.4	1.1	57.6	7.0	17.9	0.0	0.0
200℃以上	574.0	0.0	21.1	7.0	0.2	88.9	195.3	0.8	44.9	4.2	12.6	0.0	0.0
対象温度区分	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
150℃以上	86	0.0	0.0	48.3	0.0	61.5	0.8	0.0	0.0	0.0	55.6	7.6	11.1
180℃以上	36	0.0	0.0	41.4	0.0	17.0	0.4	0.0	0.0	0.0	9.5	3.0	0.0
200℃以上	23	0.0	0.0	35.7	0.0	4.2	0.2	0.0	0.0	0.0	4.0	1.5	0.0
対象温度区分	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
150℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
180℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
200℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象温度区分	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
150℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	22.6	151.0	38.6	67.9	0.0	
180℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	15.9	91.5	28.1	45.2	0.0	
200℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	12.3	58.3	19.7	32.5	0.0	

図 8.2-13 蒸気フラッシュの都道府県別の導入ポテンシャル分布状況（設備容量：万 kW）（条件 1）



対象温度区分	全国	道北	道東	道央	道南	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
150℃以上	1,406.6	9.1	94.6	17.5	22.0	181.6	358.1	6.8	124.1	12.7	26.2	0.0	0.0
180℃以上	887.3	2.1	54.3	9.2	1.0	121.5	294.2	3.6	90.3	7.1	17.5	0.0	0.0
200℃以上	647.7	0.7	35.7	7.0	0.4	85.1	243.6	1.8	67.3	4.2	12.6	0.0	0.0
対象温度区分	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
150℃以上	84	0.0	0.0	55.2	0.0	83.2	3.9	0.0	0.0	0.0	51.9	7.6	11.3
180℃以上	36	0.0	0.0	47.7	0.0	25.7	2.3	0.0	0.0	0.0	8.8	3.1	0.0
200℃以上	23	0.0	0.0	41.7	0.0	7.3	0.9	0.0	0.0	0.0	4.0	1.5	0.0
対象温度区分	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
150℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
180℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
200℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象温度区分	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
150℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1	22.9	137.3	27.1	56.9	0.0	
180℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	15.5	81.3	21.3	36.2	0.0	
200℃以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	12.1	50.3	15.8	26.1	0.0	

図 8.2-14 蒸気フラッシュの都道府県別の導入ポテンシャル分布状況（設備容量：万 kW）（条件 2）



## (2) バイナリー発電の導入ポテンシャル

### ① バイナリー発電の導入ポテンシャル分布状況

バイナリー発電の導入ポテンシャル分布状況を図 8.2-15～18 に示す。これによると北海道、東北、九州の各電力管内を中心に点在していることがわかる。

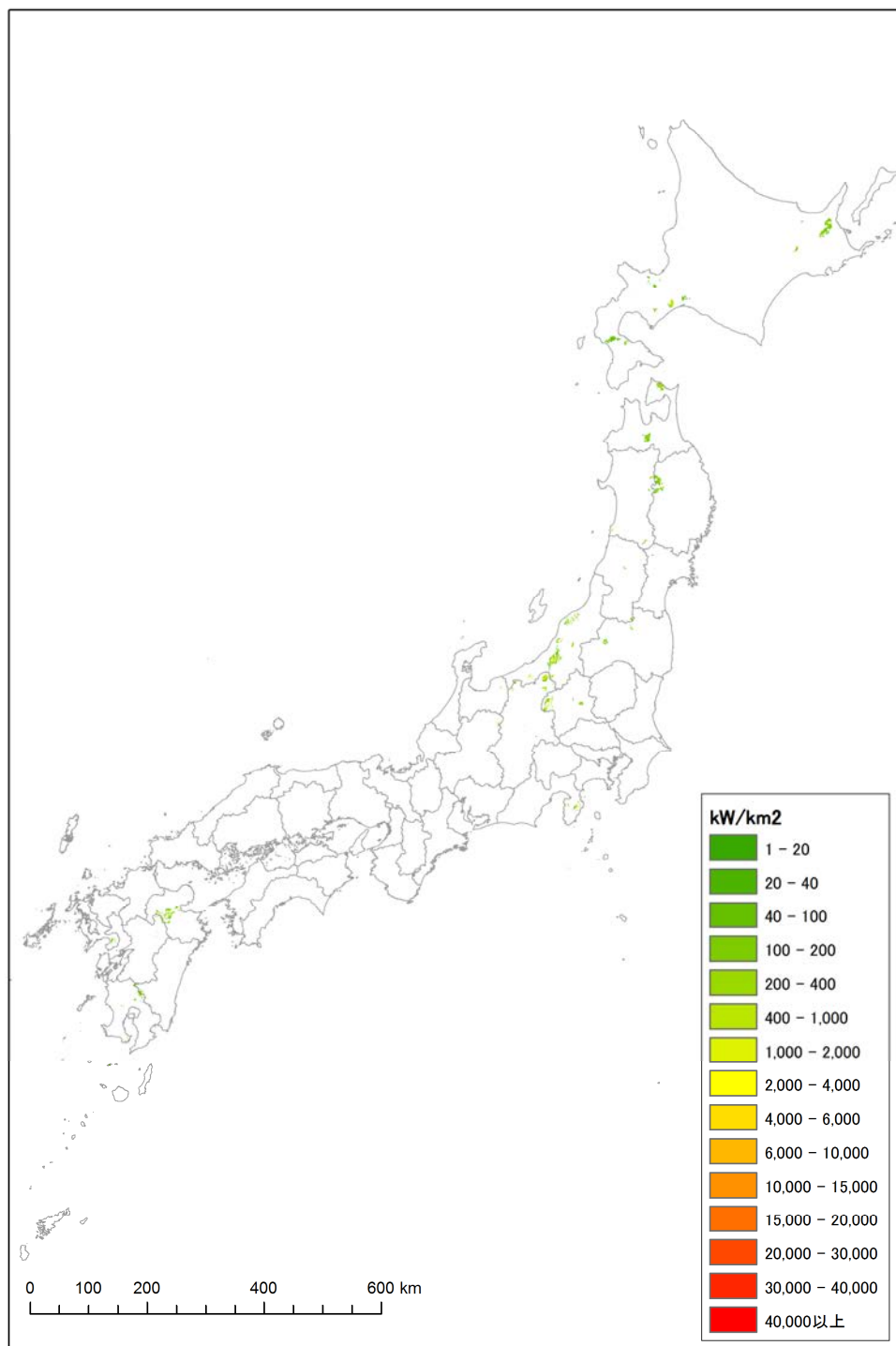


図 8.2-15 バイナリー発電の導入ポテンシャル分布図 (120～150℃、基本)

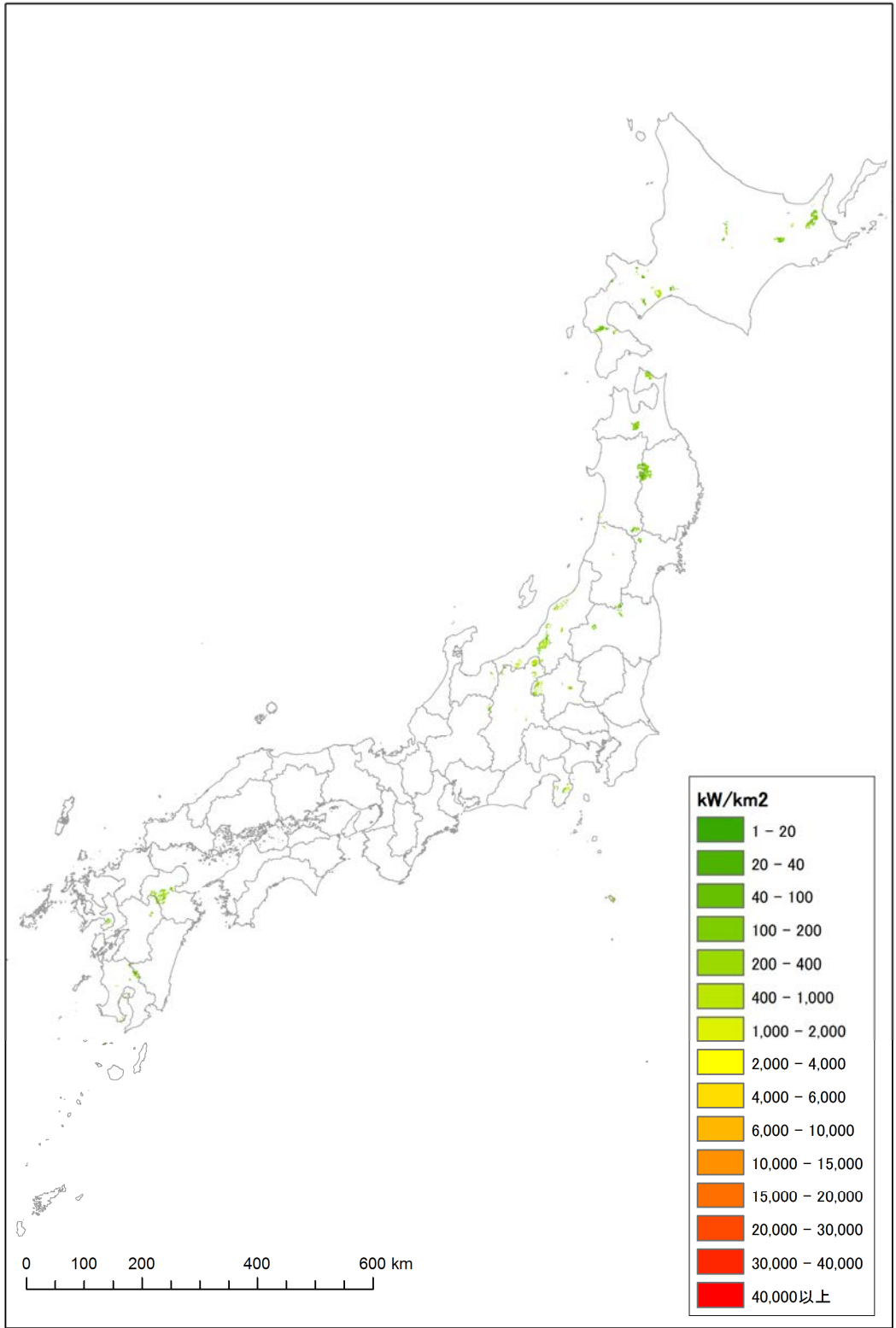


図 8.2-16 バイナリー発電の導入ポテンシャル分布図 (120~150°C、条件 2)

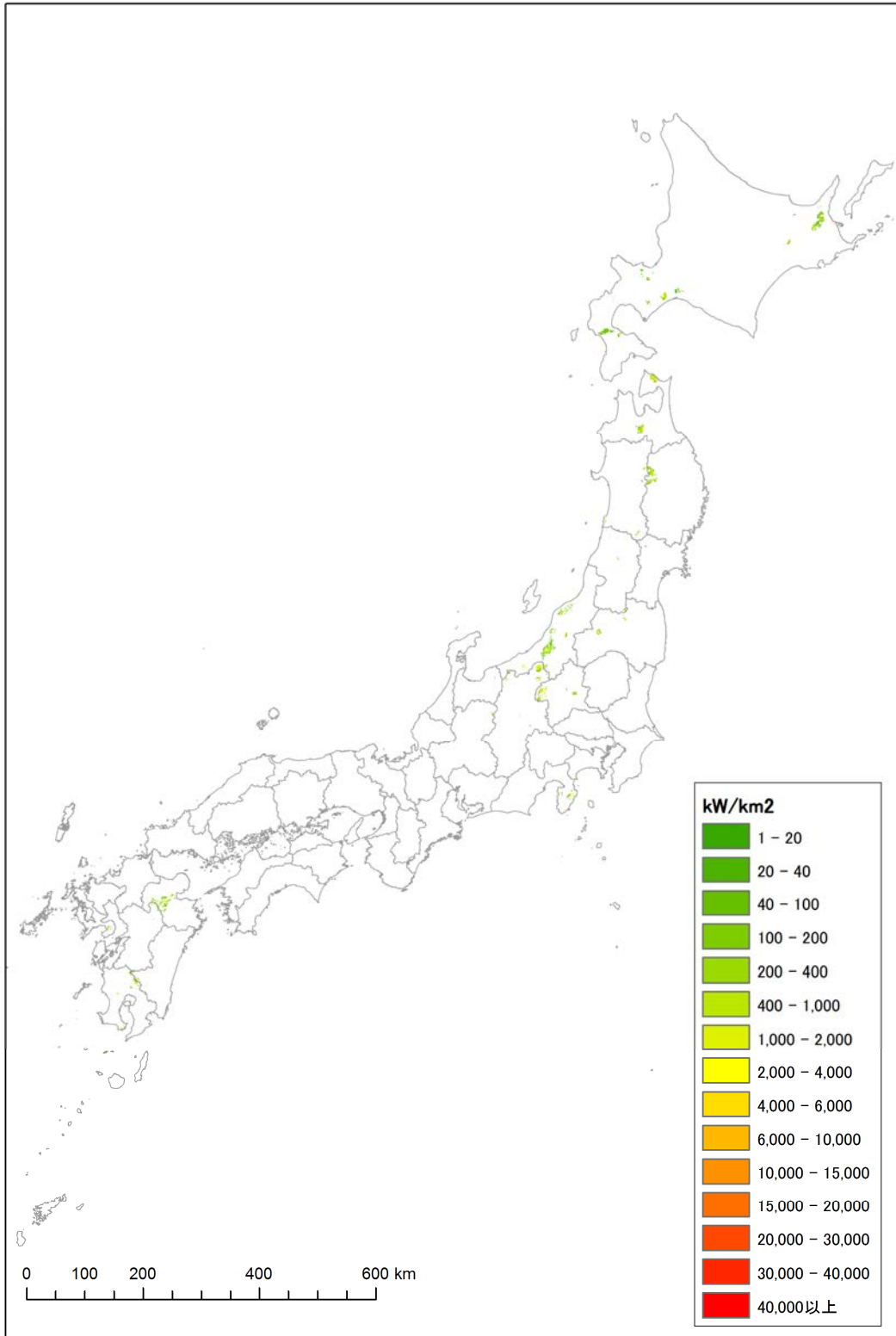


図 8.2-17 バイナリー発電の導入ポテンシャル分布図 (120~180°C、基本)

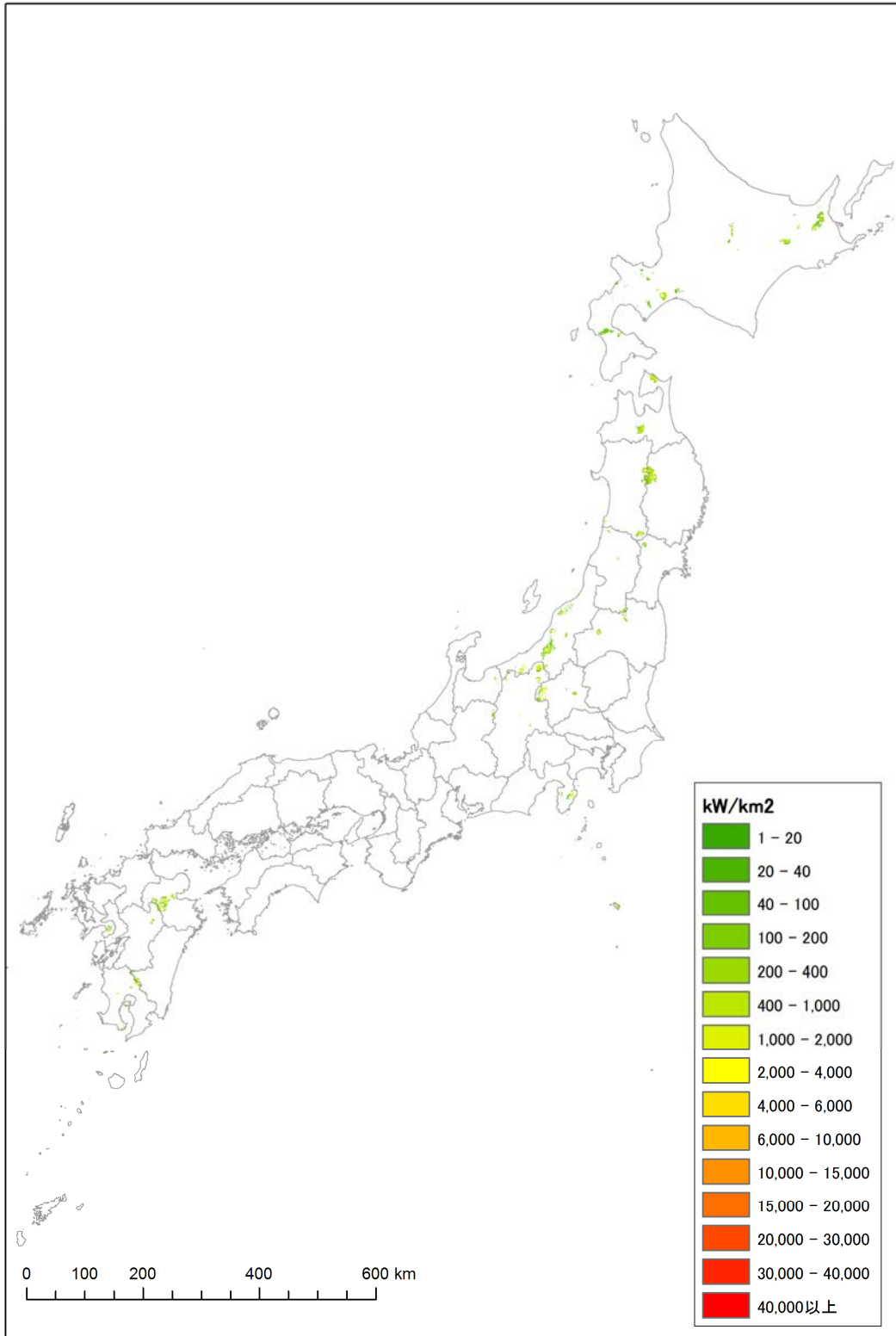


図 8.2-18 バイナリー発電の導入ポテンシャル分布図 (120~180°C、条件 2)

## ②バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果

バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果を表 8.2-2、図 8.2-19 に示す。バイナリー発電（120～150℃）について平成 22 年度推計を比較すると、約 1.5 倍になった。これは坑井データの追加により、資源量が増加したためと考えられる。

表 8.2-2 バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果

対象温度区分	推計条件	導入ポテンシャル (万 kW)	(参考) H22 推計結果 (※1)
120～150℃	基本 (国立公園なし, 傾斜掘削なし)	49	33
	条件 2 (国立公園あり, 傾斜掘削なし)	68	推計していない
120～180℃	基本 (国立公園なし, 傾斜掘削なし)	93	〃
	条件 2 (国立公園あり, 傾斜掘削なし)	136	〃

※1 環境省「平成 22 年度再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査報告書」

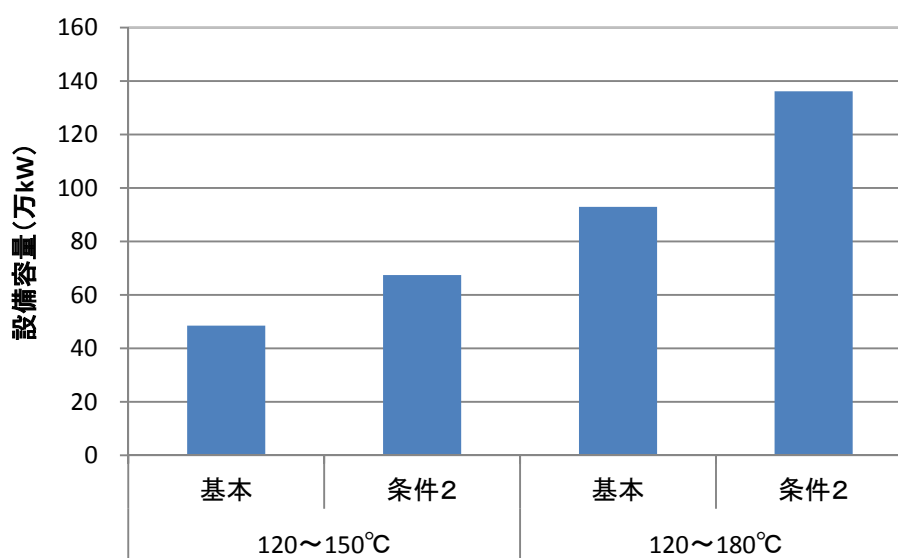
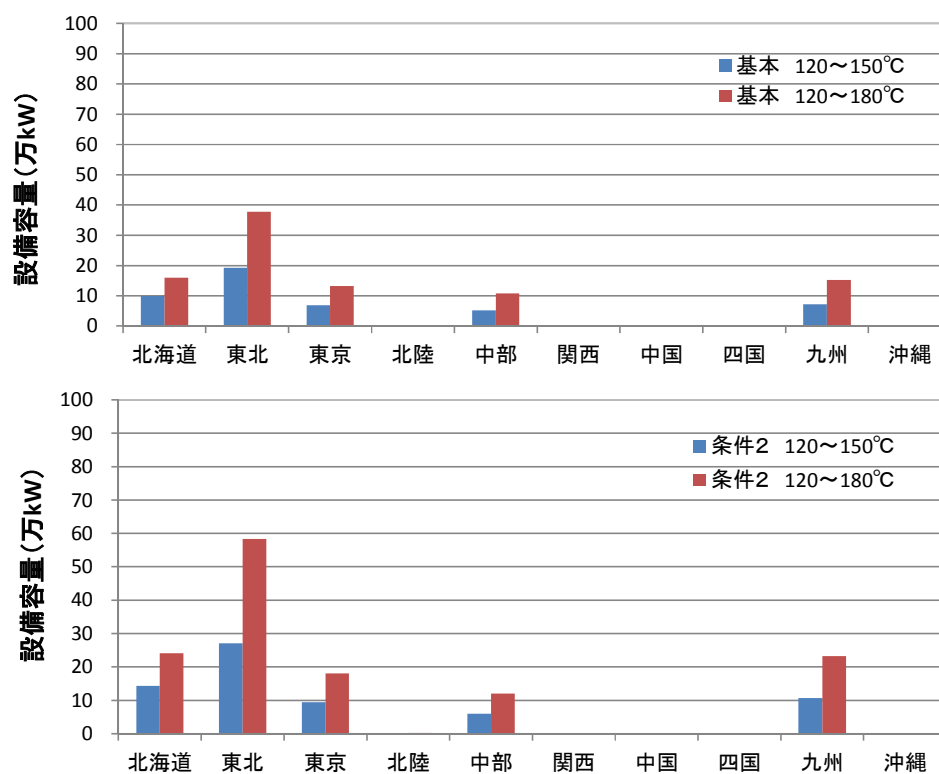


図 8.2-19 バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果

### ③バイナリー発電の電力供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況

バイナリー発電の電力供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況を図 8. 2-20 に示す。これによると北海道、東北、九州に多く分布していることがわかる。

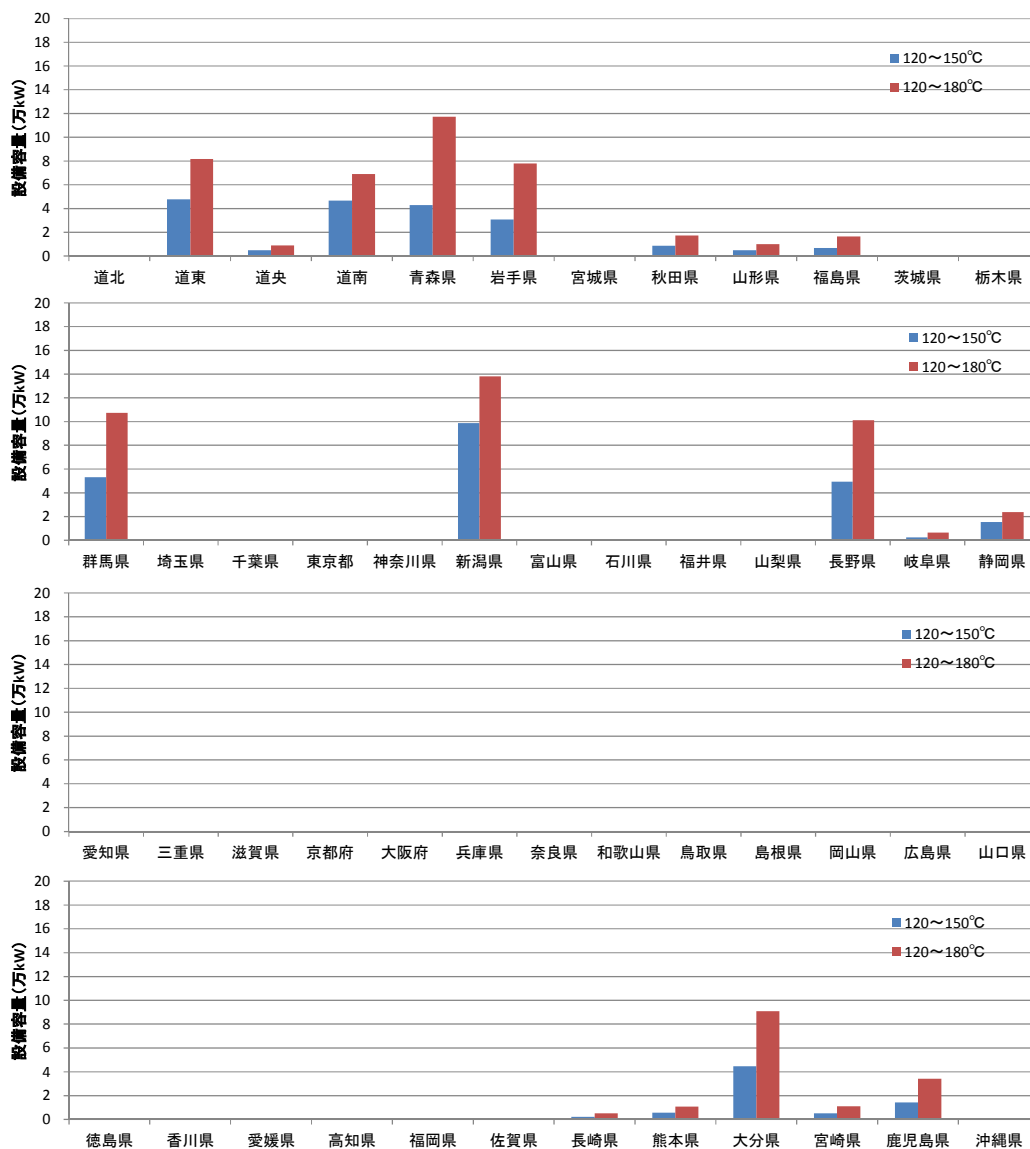


対象温度区分	推計条件	全国	北海道	東北	東京	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
120~150°C	基本	49	10	19	7	0	5	0	0	0	7	0
	条件2	68	14	27	9	0	6	0	0	0	11	0
120~180°C	基本	93	16	38	13	0	11	0	0	0	15	0
	条件2	136	24	58	18	0	12	0	0	0	23	0

図 8. 2-20 バイナリー発電の電力供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況(設備容量: 万 kW)

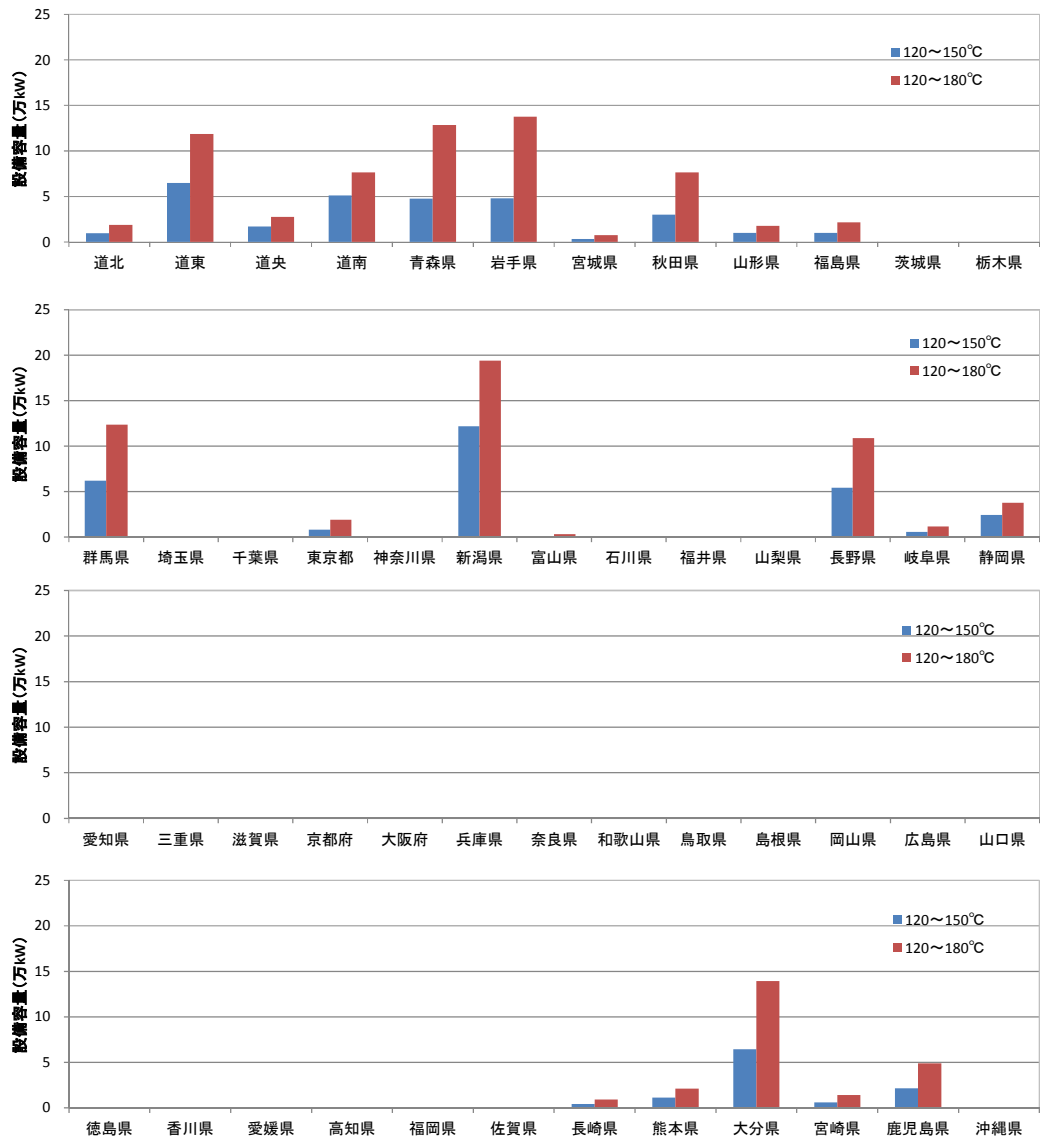
#### ④バイナリー発電の都道府県別の導入ポテンシャル分布状況

バイナリー発電の都道府県別の導入ポテンシャル分布状況を図 8.2-21～22 に示す。これによると北海道、青森県、岩手県、群馬県、新潟県、長野県、大分県に多く分布していることがわかる。



対象温度区分	全国	道北	道東	道央	道南	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
120～150℃	48.6	0.0	4.8	0.5	4.7	4.3	3.1	0.0	0.9	0.5	0.7	0.0	0.0
120～180℃	92.9	0.0	8.2	0.9	6.9	11.7	7.8	0.0	1.7	1.0	1.7	0.0	0.0
対象温度区分	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
120～150℃	5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.3	1.5
120～180℃	11	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1	0.6	2.4
対象温度区分	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
120～150℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
120～180℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象温度区分	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
120～150℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.6	4.5	0.5	1.4	0.0	
120～180℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.1	9.1	1.1	3.4	0.0	

図 8.2-21 バイナリー発電の都道府県別の導入ポテンシャル分布状況(設備容量:万 kW)(基本)



対象温度区分	全国	道北	道東	道央	道南	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
120~150℃	67.5	1.0	6.5	1.7	5.1	4.7	4.8	0.3	3.0	1.0	1.0	0.0	0.0
120~180℃	136.2	1.9	11.9	2.8	7.6	12.9	13.8	0.7	7.7	1.8	2.2	0.0	0.0
対象温度区分	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
120~150℃	6	0.0	0.0	0.8	0.0	12.2	0.1	0.0	0.0	0.0	5.4	0.5	2.4
120~180℃	12	0.0	0.0	1.9	0.0	19.4	0.3	0.0	0.0	0.0	10.9	1.1	3.8
対象温度区分	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
120~150℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
120~180℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象温度区分	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
120~150℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.1	6.4	0.6	2.1	0.0	
120~180℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	2.1	14.0	1.4	4.9	0.0	

図 8.2-22 バイナリー発電の都道府県別の導入ポテンシャル分布状況（設備容量：万 kW）（条件 2）



### (3) 低温バイナリー発電の導入ポテンシャル

#### ①低温バイナリー発電の導入ポテンシャル分布状況

低温バイナリー発電の導入ポテンシャル分布状況を図 8.2-23～24 に示す。これによると、北海道、東北、関東、北陸、九州に広く分布していることがわかる。

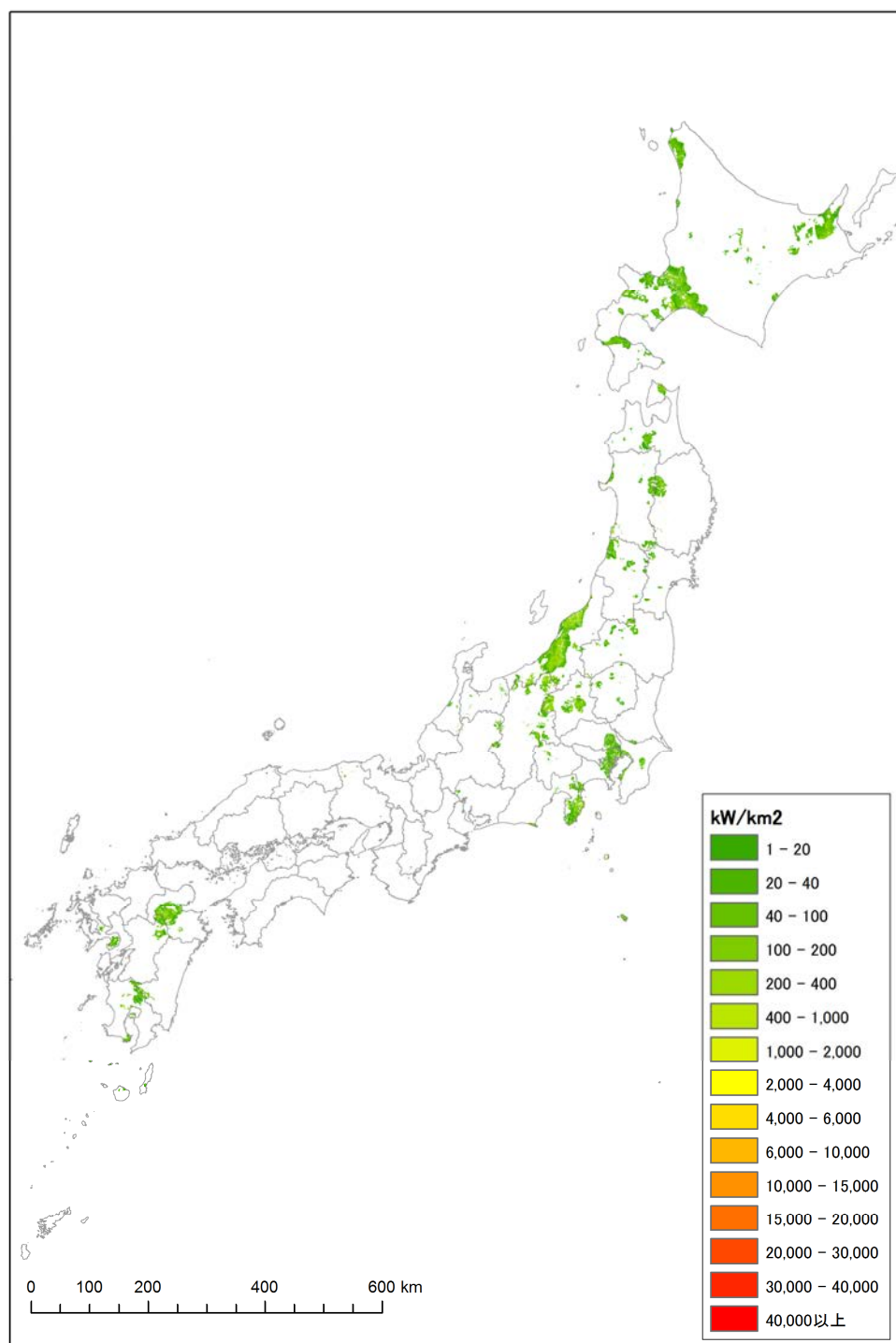


図 8.2-23 低温バイナリー発電の導入ポテンシャル分布図 (53～120°C、基本)

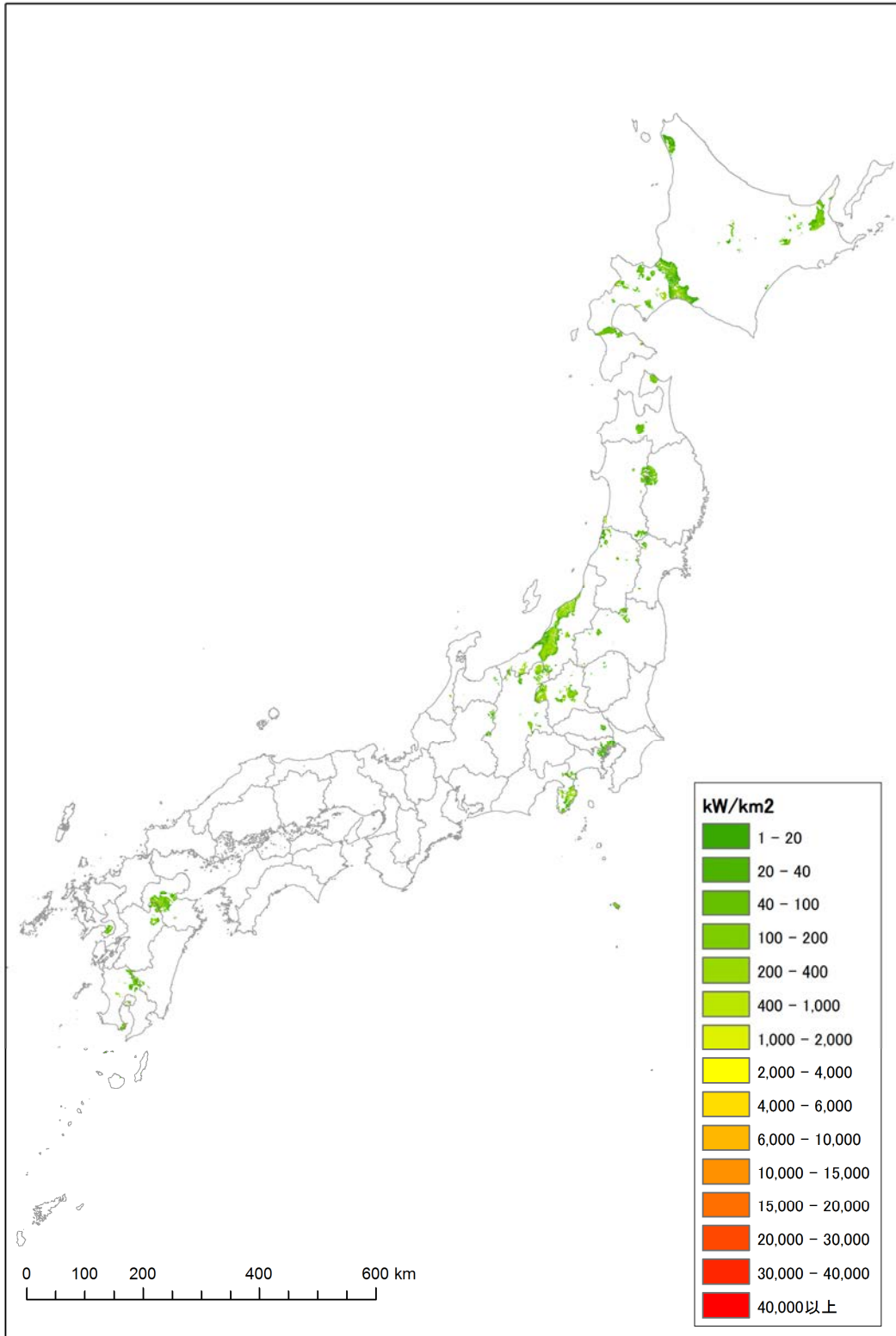


図 8. 2-24 低温バイナリー発電の導入ポテンシャル分布図 (80~120°C、基本)

## ②低温バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果

低温バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果を表 8.2-3 に示す。平成 22 年度推計結果と比較すると、5分の1程度となった。これは周辺 5km 以内に温度データの存在しないエリアにダミーデータ (AI=0) を付したことにより、それらのエリアの地下温度が過年度調査よりも低くなったためであると考えられる。

表 8.2-3 低温バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果

対象温度区分	推計条件	導入ポテンシャル (万 kW)	(参考) H22 推計結果 (※1)
53~120°C	基本	171	751
80~120°C	基本	121	推計していない

※1 環境省「平成 22 年度再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査報告書」

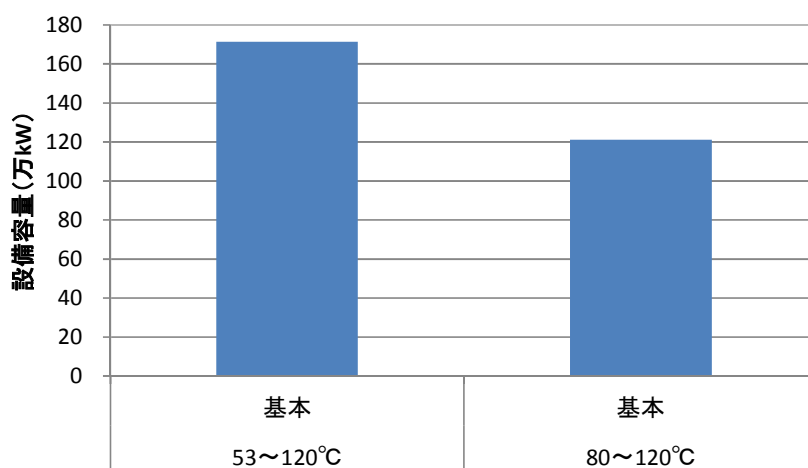
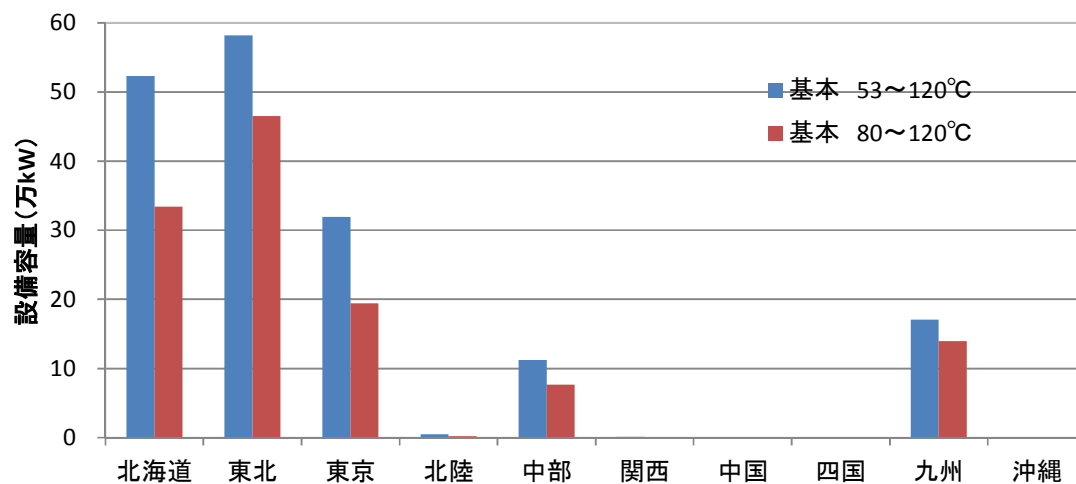


図 8.2-25 低温バイナリー発電の導入ポテンシャル集計結果

### ③低温バイナリー発電の電力供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況

低温バイナリー発電の電力供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況を図 8. 2-26 に示す。これによると、北海道、東北、東京、中部、九州に分布していることがわかる。

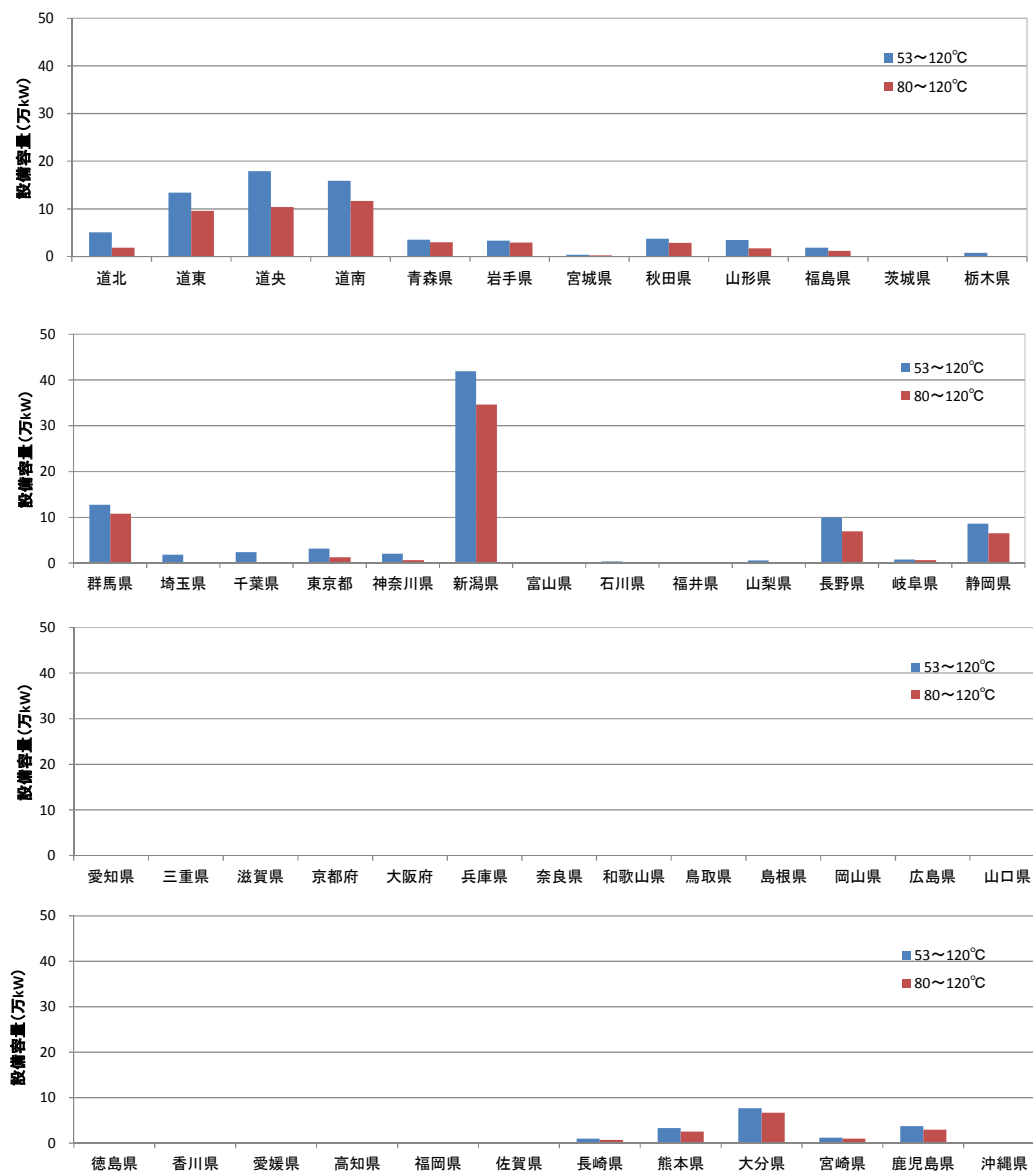


対象温度区分	北海道	東北	東京	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
基本 53~120°C	52	58	32	0	11	0	0	0	17	0
基本 80~120°C	33	47	19	0	8	0	0	0	14	0

図 8. 2-26 低温バイナリー発電の供給エリア別の導入ポテンシャル分布状況(設備容量: 万 kW)

#### ④低温バイナリー発電の都道府県別の導入ポテンシャル分布状況

低温バイナリー発電の都道府県別の導入ポテンシャル分布状況を図 8.2-27 に示す。これによると新潟県に最も多く分布しており、北海道や長野県、静岡県が続いている。



対象温度区分	全国	道北	道東	道央	道南	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
53~120℃	171.4	5.1	13.4	17.9	15.9	3.6	3.3	0.4	3.8	3.5	1.8	0.1	0.8
80~120℃	121.3	1.9	9.6	10.3	11.7	3.0	2.9	0.3	2.9	1.7	1.2	0.0	0.1
対象温度区分	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
53~120℃	13	1.8	2.4	3.1	2.0	41.9	0.1	0.3	0.0	0.6	10.0	0.8	8.6
80~120℃	11	0.1	0.1	1.3	0.7	34.6	0.1	0.1	0.0	0.0	6.9	0.6	6.5
対象温度区分	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
53~120℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
80~120℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対象温度区分	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
53~120℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.4	7.7	1.2	3.7	0.0	
80~120℃	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.5	6.7	1.0	3.0	0.0	

図 8.2-27 低温バイナリー発電の都道府県別の導入ポテンシャル分布状況(設備容量: 万 kW)(基本)